

科目名	卒業研究				
担当教員名	神保 雅人				
学部等	サービス創造学部	開講学期	2026年度秋学期		
ナンバリング		学年	4年	単位	4単位

副題	卒業研究				
科目情報補足					
事前に履修することが望ましい科目	研究4A				

この科目を通じて身につける能力要素

全学共通の能力要素	<2019年度～2024年度入学者> 専門的な知識・技能【◎】、普遍的な知識・技能【○】、相互理解・コミュニケーション力【○】、チャレンジ精神・実践力【○】、主体性・責任感【○】、社会規範意識・誠実さ【○】
学部固有の能力要素	
能力要素と授業内容の関係	卒業論文の作成を通じて、より高度な専門知識を習得し、分析力及び考察力の向上を図る。
能力要素の詳細	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html （2024年度以前入学者のCUC6つの能力要素は、「全学共通の能力要素」に記載します）

科目概要

研究4Bで各自が定めたテーマに基づく調査、研究、実践活動等の成果のまとめを担当教員所定の卒業制作（論文、調査書、企画書、報告書等）として完成させることを通じて、専門的な知識を有機的に結び付けて体系化し、論理性を向上させる。

この科目の学修目標

研究4Bの成果のまとめに基づいて、卒業制作を完成させる。

授業の特徴（指定科目のみ掲載）

上記の科目概要及び科目の到達目標に加え、本教員においては以下の内容を付記する。
卒業研究では、研究4Aの内容に沿って卒業論文を作成し、進捗状況に対するアドバイス、文章の校正指導を通じて、論文の作成作業とはどのようなものを学ぶ。

履修上の注意

この科目では、ノート型PCを利用する。

「卒業研究」は「研究4B」と一体のものとして扱い、「研究4B」への出席が必須とされるので留意すること。
また、卒業論文の校正指導に応じて、毎回修正原稿を提出すること。

実務経験を活かす授業		実務経験内容等			
PC必携	○	使用するソフトウェア等			

データを活用する授業

データ分析を行う		外部機関（企業等）のデータ活用する		その他	
----------	--	-------------------	--	-----	--

アクティブ・ラーニングの要素

グループワーク		プレゼンテーション	○	実習、実技、フィールドワーク	○
PBL（課題解決型学習）		双方向型学修（クリッカー等）		ディスカッション・ディベート	
反転授業		その他	資料集めや論文の構成、文章の執筆等を学生が主体的に進める。		

授業計画

授業回	各回の概要	各回の事前事後学修	事前事後学修時間
【第1回】論文の書き方(1) テーマ設定 【第2回】論文の書き方(2) 章立ての仕方 【第3回】論文の書き方(3) 参考文献の扱い方 【第4回】論文の書き方(4) 要旨、『はじめに』及び『おわりに』の章の書き方 【第5回】論文の作成(1) テーマ設定に関する概要の作成 【第6回】論文の作成(2) 章立て案の作成			

- 【第7回】論文の作成(3) 原稿の執筆及び参考文献との関連付け(1)
- 【第8回】論文の作成(4) 原稿の執筆及び参考文献との関連付け(2)
- 【第9回】論文の作成(5) 原稿の執筆及び参考文献との関連付け(3)
- 【第10回】論文の作成(6) 原稿の執筆及び参考文献との関連付け(4)
- 【第11回】概要書の作成
- 【第12回】報告会用資料の作成
- 【第13回】報告会

<事前学修>
 文献を収集して読み込み、その内容をまとめると共に、論文の原稿を書き進める。
 <事後学修>
 論文の原稿について教員からのフィードバックで指摘された箇所を修正する。
 （事前学修・事後学修を合わせて各回3.5時間）

成績評価の方法	成果物の完成度(100%)
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	課題に対するフィードバックはTeams上のチャットで行う。
テキスト・教科書	特になし
参考文献	特になし